

# 平成30年 北海道胆振東部地震に伴う災害派遣



第747号  
平成30年9月26日

方面総監要望事項

よく考えて、  
前へ!

陸上自衛隊  
北部方面隊広報紙  
発行：北部方面総監部広報室

北部方面隊  
ホームページ  
<http://www.mod.go.jp/gsd/nae>

公式 SNS



## 地震発生後速やかに被災地へ

平成30年9月6日午前3時8分頃、北海道胆振東部地方中東部を震源とする地震が、最大震度7を観測した。この地震により、道内各地で停電、断水が発生し、札幌市清田区の一部の地域で液状化等が発生した。被災地域は、胆振東部地方で土砂崩れ、道路の損傷、家屋の倒壊等が生じた。被害は、胆振東部地方を中心に、道内各地に及ぶ。被災者への支援活動を開始した。

厚真町において、災害派遣活動を開始した。厚真町は、胆振東部地方に位置し、被災地域に隣接している。厚真町は、災害派遣活動を開始し、被災者への支援活動を行っている。厚真町は、災害派遣活動を開始し、被災者への支援活動を行っている。

厚真町は、災害派遣活動を開始し、被災者への支援活動を行っている。厚真町は、災害派遣活動を開始し、被災者への支援活動を行っている。厚真町は、災害派遣活動を開始し、被災者への支援活動を行っている。



人命救助 (厚真町吉野地区)

厚真町は、災害派遣活動を開始し、被災者への支援活動を行っている。厚真町は、災害派遣活動を開始し、被災者への支援活動を行っている。厚真町は、災害派遣活動を開始し、被災者への支援活動を行っている。

### 活動状況

平成30年9月10日現在



道路啓開



情報収集のため離陸するヘリ映伝機



初動対処部隊 (FAST-Force)



関係機関との調整



夜間における人命救助



厚真ダム対処



安倍総理大臣被災地視察

# 被災地の1日も早い復興を願って



電力供給支援 (燃料)



即応予備自衛官招集



海上自衛隊との連携による物資輸送



給水支援



給食支援



入浴支援



健康相談



即応予備自衛官によるマッサージ支援



民間船舶 (はくおう) での慰問演奏



北部方面後方支援隊

野外における整備



第1電子隊

電子戦システム構成



北部方面情報隊

移動監視隊による情報収集



北部方面対舟艇対戦車隊

96式多目的誘導弾射撃

## 平成30年度北部方面隊総合戦闘力演習

平成30年度北部方面隊総合戦闘力演習は、9月29日から30日までの2日間、平成一連の演習を実施し、北部方面隊の戦力向上を図ることを目的とした。

演習は、北部方面隊の戦力向上を図ることを目的とした。演習は、北部方面隊の戦力向上を図ることを目的とした。

演習は、北部方面隊の戦力向上を図ることを目的とした。演習は、北部方面隊の戦力向上を図ることを目的とした。



防御準備 (第5旅団指揮所掩壕構築)

演習は、北部方面隊の戦力向上を図ることを目的とした。演習は、北部方面隊の戦力向上を図ることを目的とした。



生地を活用した渡河訓練



総合戦闘射撃



緊急患者搬送

平成30年度方面直轄部隊訓練検閲  
あらゆる状況を克服し、それぞれの任務を達成

人員約11700名、車両約3300両が全道各演習場、駐屯地等において訓練を実施



旭川駐屯地



無人偵察機の説明を受ける防衛大臣

小野寺防衛大臣は7月21日、旭川駐屯地及び近文台分屯地を視察した。大臣は旭川駐屯地において慰霊碑参拝、献花の後、施設巡視により部隊の現況を確認した。

施設巡視では、第2師団が装備する無人偵察機(UAV)のホバリング、狙撃の撮影、車両撮影等の展示により、UAVの偵察行動要領を確認した。

その後、駐屯地に集まった隊員に対し、「旭川の部隊は、北の師団として名高く、北の守りを永きにわたって担ってきた。近年では、第2師団は各種新装備を全国に先駆けて運用し、将来の陸上自衛隊の在り方を創造する実験的役割を務めており、まさに陸上自衛隊の大変革の最前線部隊である。第2師団の隊員諸君一体となつて、引き継ぎ体制改革への取り組みや、日々の訓練に励んでいただきたい」と訓示した。

防衛大臣は引き続き、近文台分屯地に於いて施設等を確認し、視察を終了した。

### 小野寺防衛大臣旭川駐屯地及び近文台分屯地視察



### 災害派遣任務を終了

被災者からの見送り

北部方面隊は、平成30年7月豪雨に係る災害派遣のため、広島県において入浴支援、愛媛県において給水及び入浴支援を実施していたが、災害派遣所要の減少に伴い、活動を中部方面隊へ引き継ぎ、8月3日、北部方面隊としての災害派遣活動を終了した。

活動終了後、7月12日から22日間、第2師団、第7師団、第5旅団、第11旅団、北部方面隊後方支援隊の各一部から編成した給水・入浴支援隊の他、警務隊や総務部の連絡幹部36名を含め、人員36名、車両136両を現地へ派遣し、広島県において約1万2千名の入浴支援、愛媛県において約5千名の入浴支援と約3百トンの給水支援を実施した。

被災地の住民からは、「暑い中、水を運んでいただき、大変助かりました。お風呂気持ちよかったです。」等の感謝の言葉が寄せられた。愛媛県西予市立野村小学校で入浴支援を実施していた第1入浴支援隊の第2後方支援隊は、8月2日に入浴支援業務を終了、小学生らから感謝の言葉と笑顔で見送られた。

自衛隊は、8月18日の撤収要請を受け、全ての被災地での活動を終了した。

## 平成30年7月豪雨に係る災害派遣

### アフリカ施設部隊早期展開プロジェクト



総監の見送り



現地で指導をする隊員

### 方面隊として初の派遣

北部方面隊は、アフリカ諸国の軍隊に協力するプロジェクトとして初めて、方面隊プロジェクトとして、7月19日、第2師団隷下の第13旅団隷下の施設部隊早期展開プロジェクトを、アフリカに派遣した。

このプロジェクトは、PKOへの参加を目的としており、施設部隊の海外展開に必要となる訓練を実施し、PKOへの参加に備える。派遣は平成26年から実施している。

7月30日、整備要領等の指導を実施する。



総監挨拶



総監部からの説明

### 第1回国民保護訓練

### 関係機関等の相互理解の促進・連携強化

北部方面隊は7月19日、札幌駐屯地に於いて、第1回国民保護訓練を実施した。

訓練は、内閣府をはじめとした中央省庁、地方自治体等92機関、143名の参加があり、関係機関等との連携強化を図る。訓練は、関係機関等からの参加者による。訓練は、関係機関等からの参加者による。

## 着任将官部隊長等紹介

### 第26代自衛隊札幌病院長

陸将 大鹿 芳郎

昭和38年生まれ  
出身：東京都  
防衛医科大学校8期

主要経歴

- 平成7年 市ヶ谷駐屯地業務隊付
- 平成11年 陸上自衛隊衛生学校
- 平成11年 陸上幕僚監部 人事部
- 平成12年 自衛隊中央病院
- 平成18年 自衛隊中央病院 高等看護学院学院長
- 平成19年 陸上幕僚監部 衛生部
- 平成20年 陸上幕僚監部 衛生部企画室長兼自衛隊中央病院
- 平成21年 自衛隊中央病院 救急部長
- 平成22年 自衛隊札幌病院 副院長兼企画室長
- 平成24年 陸上幕僚監部 衛生部長兼自衛隊中央病院
- 平成26年 自衛隊福岡病院長
- 平成29年 自衛隊中央病院 副院長兼企画室長

### 第8代第11旅団長

陸将補 亀山 慎二

昭和38年生まれ  
出身：長崎県  
防衛大学校31期

主要経歴

- 平成7年 幹部学校付 指揮幕僚課程
- 平成9年 第7師団司令部第3部
- 平成12年 陸上幕僚監部 人事部
- 平成14年 中央資料隊付 米海兵隊指揮幕僚大学
- 平成15年 陸上幕僚監部 教育訓練部教育課
- 平成18年 中央即応集団準備部防衛 GP 長
- 平成19年 中央即応集団司令部防衛部長
- 平成19年 陸上幕僚監部運用支援、情報部地域情報班長
- 平成21年 第72戦車連隊長
- 平成23年 陸上幕僚監部運用支援、情報部情報課長
- 平成25年 陸上自衛隊小平小学校副校長
- 平成26年 第3師団副師団長兼千代駐屯地司令
- 平成27年 東北方面幕僚監部幕僚副長(行政)
- 平成28年 中央情報隊長
- 平成30年 中央情報隊長兼陸上総隊情報部長

### 第36代第7師団長

陸将 前田 忠男

昭和39年生まれ  
出身：千葉県  
防衛大学校31期

主要経歴

- 平成6年 幹部学校付 指揮幕僚課程
- 平成8年 富士学校 普通科部
- 平成10年 第18普通科連隊 中隊長
- 平成12年 政策研究大学院大学修士課程
- 平成13年 陸上幕僚監部教育訓練部教育課
- 平成16年 陸上幕僚監部監理部総務課
- 平成18年 米陸軍戦略大学留学
- 平成19年 中央情報隊本部付
- 平成19年 統合幕僚監部運用第1課防衛警護班長
- 平成21年 第12普通科連隊長兼分駐屯地司令
- 平成22年 陸上幕僚監部装備部装備計画課長
- 平成24年 第1空挺団長兼志野駐屯地司令
- 平成25年 幹部候補生学校長兼前川原駐屯地司令
- 平成27年 研究本部総合研究部長
- 平成28年 陸上幕僚監部防衛部長

